

【 熊本県 】

「令和5年度熊本県公立学校教員採用選考考査 第一次考査 高校地理」より

問題

(3) 次の文は、現代世界の国家と領域について述べたものである。次の(i)～(iii)の各問いに答えなさい。

現代世界は、国家を単位として構成されている。国家が成立するためには、主権・領域・国民が必要である。主権とは、(A) ための最高の権力である。領域とは主権が及ぶ範囲であり、(B)領土・領空・(C)領海から構成される。領域に属している人々が国民である。

(ii) 文中の下線部(B)に関連して、日本の領土について述べた次の文の空欄(①)～(③)に適切な語句を答えなさい。また、下線部(X)に対して、日本はどのように主張しているか説明しなさい。

日本とロシアとの間には、北方領土問題がある。日本は固有の領土として返還を要求しているが、ロシアは、ポツダム宣言が日本の領土を本州・九州・四国・北海道とその周辺の島々に限定していること、及び(①) 条約において(X)日本が千島列島を放棄したことを理由として、返還を拒否しており、未解決のままである。また、同じく日本固有の領土である竹島についても領有権をめぐり、韓国との間で主張が対立している。竹島は大小二つの岩礁と周辺の数十の小さな岩礁からなる島で、日本の(②) 県に属する。韓国は竹島を(③) と呼び、警備隊を置き、実効支配を続けている。

※ (2) 及び (3) は北方領土に関する問題ではないため省略

解答

(3) (ii) (①) サンフランシスコ平和 (条約)

(X) 日本はウルップ島以北は放棄したが、択捉島以南はその範囲に含まれないとして返還を要求している。[解答例]